

教員氏名	寺田 泰人	職位	教授
最終学歴	筑波大学大学院修士課程体育研究科体育方法学専攻		
学位	体育学修士、修甲第 3948 号（筑波大学）		
役職	保育学部長	委員会	
担当科目	<p>幼児体育Ⅰ、          幼児と健康、保育内容指導法（健康）、          体育、体育科教育法、          保幼小連携総論、          保育実践演習、保育実習指導Ⅲ、          総合演習ⅠA、総合演習ⅠB          総合演習ⅡA、総合演習ⅡB</p>		
教科書・教材・教育方法の実践例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技授業では授業ノートを活用し、毎時の授業内容を書きとめるよう指導した。これによりテキストでその内容について確認するとともに、自身が指導する際には、対象年齢・人数等を考慮して、授業で学習した内容をより発展させることも考えるよう助言した。</li> <li>・パワーポイントを使用して、板書にかかる時間をなくし、効率的に授業を進めるよう工夫した。</li> <li>・授業で配布する資料を書き込み形式にして、授業内容を記入したり、各自テキストを参考に授業時間内に単元の内容をまとめるなど、単に出席して座っているだけにならないよう工夫した。</li> <li>またワークシートを活用し、自身の経験や実習体験などをもとに、意見を出し合っ て考える、わかりやすく情報をまとめ直す、応用問題を解く、などアクティブ・ラー ニングを通して、実践力を身につけることを目指している。</li> <li>・指導計画案に基づくシミュレーション授業では、授業担当者による添削の後、毎 授業にて順番にシミュレーション授業を実施する。</li> <li>そして指導計画の内容や指導方法、運動強度・運動量等、さまざまな角度から発表 されたシミュレーションを評価し、受講学生が相互に、その後の学習活動へフィード バックしていくよう工夫した。</li> <li>・Ohka Moodle にて課題の提示や提出等を行うことで、学生が ICT 機器を利用して 予習・復習を効率よく行えるよう工夫した。</li> </ul>		

<p>教育研究業績</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「ラグビーの学習内容に関する一考察：「ボール持ち運び」時の状況に着目して」(共著) スポーツ教育学研究 78 第40巻 第2号 2020.12月</li> <li>2. 「コロナ禍における幼児体育の学びを考える -遊びの工夫を通して気づいたこと-」(共著) 桜花学園大学保育学部研究紀要第23号 2021.3月</li> <li>3. 「保育内容指導法(健康)におけるICTを活用した授業の工夫」(共著) 桜花学園大学保育学部紀要第26号 2022.11月</li> <li>4. 「幼児・学童に対するラグビーの効果的な指導方法に関する研究 -ラグビーからミニラグビーへ- 日本ラグビー学会第16回大会 2023年3月</li> <li>5. 「ネットワーク分析によるラグビーパフォーマンス -7人制ラグビーワールドシリーズ縦断分析-」 日本コーチング学会第35回大会 2024年3月</li> <li>6. 「競技力途上の大学ラグビーのコーチングに関する一考察」 日本コーチング学会第35回大会 2024年3月</li> <li>7. 「タッチラグビーのルールに関する実態調査」 日本コーチング学会第35回大会 2024年3月</li> <li>8. 「スポーツ・ライフ・バランスについて -大学ラグビー選手のスポーツと生活の調和-」 日本ラグビー学会第17回大会</li> </ol>
<p>所属学会</p>	<p>日本体育・スポーツ・健康学会、東海体育学会、日本コーチング学会、日本発育発達学会、日本ラグビー学会、日本保育学会、日本スポーツ教育学会</p>